

雨水貯留・浸透施設等設置助成制度について

令和5年.5月版

市では、雨水流出を抑制し、浸水被害の防止を図るとともに雨水の浸透による地下水のかん養
その他自然環境の保全及び回復に資することを目的とした雨水貯留・浸透施設の設置を助成して
います。

1. 前川流域雨水流出抑制重点地域の助成金額の特例の期間を令和7年度末まで延伸

市では、溢水を繰り返す前川流域を「雨水流出抑制重点地域」（以下、重点地域といいます。）に指定し、令和8年3月31日まで助成率及び助成額の特例を延伸します。

2. 雨水貯留槽(タンク)設置助成を市内全域に拡大

これまでは、浸透施設設置不適地のみ助成対象でしたが、令和3年度より市内全域で雨水貯留槽設置助成を開始しています。※市街化調整区域を除く

3. 助成金額の助成率・上限額・標準工事単価

助成金額の助成率・上限額

対象地域	助成率	上限額
重点地域	9/10 (90%)	浸透ます・浸透トレンチ 15万円 雨水貯留槽(タンク) 13万円
重点地域外	3/4 (75%)	全て 12万円

※お住まいの地域によって助成の対象となる施設が異なります。

令和5年度 標準工事単価

種別	規格	単価
浸透ます	φ250 mm	42,900 円/個
	φ300 mm	50,600 円/個
浸透トレンチ管	φ100 mm	19,800 円/m
	φ150 mm	30,800 円/m
雨水貯留槽(タンク) ※標準的な貯留槽の場合 1 基当たり		151,800 円/基 (設置費のみ 53,900 円/基)

※上記単価に必要数量を乗じて得た額の4分の3(重点地域は10分の9)に相当する額とし、上記の額を助成金額の上限とします。(1000円未満の端数は切り捨て)

※単価は毎年見直しを行います。

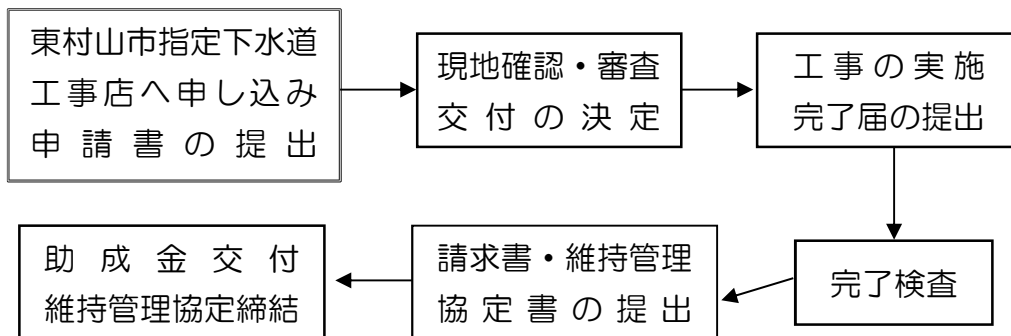
※年度当初については、申請を一時お待ちいただく場合がございます。

※年度内(2月末迄)に完了するものを対象とします。

4. 維持管理に関する協定書の締結

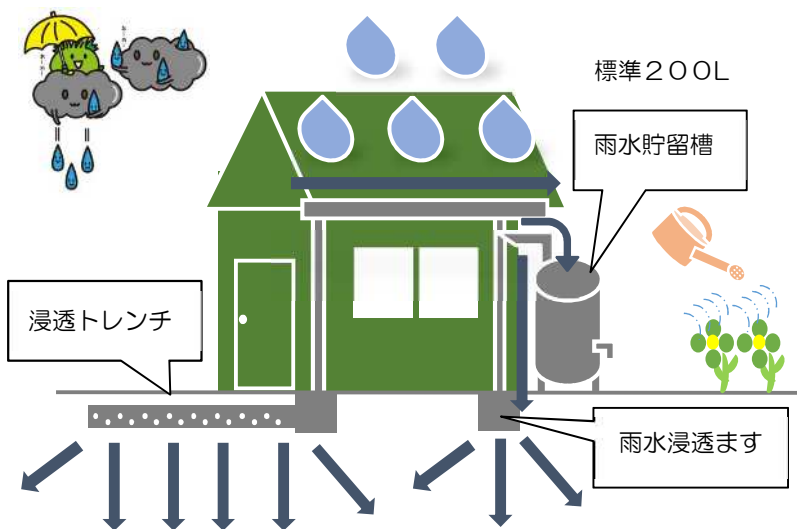
設置した雨水浸透・貯留施設(タンク)の保守点検及び清掃を定期的に行い、機能を正常に保つよう、市と申請者で協定書を締結させていただきます。

5. 雨水貯留・浸透施設助成制度手続の流れ



※当助成制度をご利用される場合は、工事を始める前に、東村山指定下水道工事店を通して手続きを行ってください。工事着手・完了後の申請については、助成の対象外になります。

6. 雨水貯留・浸透施設の役割



雨水浸透ます・浸透トレンチ・・・

屋根に降った雨水を集めて、徐々に地中へと浸透させてゆく施設です。ゆっくりと時間をかけて浸透するため、大雨時に河川等に流れる量が減り、浸水被害の軽減に貢献します。

雨水貯留槽・・・

屋根に降った雨水をそのまま集めて、一時的に貯める施設です。貯めた水は、庭の水やりなどに利用できます。

☆ 計算例

重点地域・雨水貯留槽助成金設置計算例

標準的な貯留槽 200L 1基の場合

上限額 13万円 補助率 9/10

標準貯留槽(タンク)200L 1基 151,800円

$151,800 \text{円} \times 9/10 = 136,620 \text{円} \rightarrow 130,000 \text{円}$

(1,000円未満切捨て)

$151,800 \text{円} - 130,000 \text{円} = 21,800 \text{円}$

助成額 130,000円

自己負担額 21,800円

重点地域外・雨水浸透ます助成金計算例

雨水浸透ますΦ250mm 標準工事単価 42,900円

4個の場合

上限額 12万円 補助率 3/4

雨水浸透ますΦ250mm 4個 171,600円

$171,600 \text{円} \times 3/4 = 128,700 \text{円} \rightarrow 120,000 \text{円}$

(1,000円未満切捨て)

$171,600 \text{円} - 120,000 \text{円} = 51,600 \text{円}$

助成額 120,000円

自己負担額 51,600円

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

東村山市役所 まちづくり部 下水道課施設係 電話 042-393-5111 内線 3704

